



東北大学

2014年1月20日

流体科学研究所 丸田 薫 教授が「ロシア政府メガプロジェクト」研究拠点リーダーに
(ロシア政府の大型予算によるロシア研究拠点形成事業)

東北大学 丸田 薫 教授（流体科学研究所・附属未到エネルギー研究センター）が、「ロシア政府メガプロジェクト」の研究拠点リーダーに選出されました。

2011年に始まったこのロシア政府のプロジェクトは、世界各国の優れた人材をリーダーとする大型研究拠点をロシア国内に形成する目的で、3～5年間にわたり年間百万ドル規模（約1億円／年、総計3～5億円）を交付する事業です。今回は、ロシア政府に503件の申請があり、そのうち42名（日本からは1件）が選ばれています。

研究題目は「熟物質再生を伴う新概念燃焼技術の基礎学理」、拠点はロシア極東連邦大学（ウラジオストク）であり、宇宙等における微小重力場実験、詳細な化学反応の解明や理論解析により、エネルギーの最終的な利用形態を踏まえた高効率燃焼科学技術の確立を目指しています。丸田 薫 教授と、極東連邦大学 Sergey Minaev 教授（ロシア科学アカデミー・シベリア支部を兼任）との長年にわたる共同研究を基盤とし、革新的な燃焼技術を創成して参ります。

なお日本人の拠点リーダーは、ノーベル化学賞の下村脩先生（クラゲ等の生物発光）をはじめ、これで総計5名となりました。そのうち3名が東北大学（2013年の川添 良幸 名誉教授・大谷 栄治 教授、および本件）から選ばれています。

(問い合わせ先)

東北大学 流体科学研究所

担当：丸田 薫 教授（附属未到エネルギー研究センター：エネルギー動態研究分野）

電話番号：022-217-5319